

資料 1

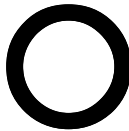
平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 朝食を欠食する児童生徒を、平成 1 3 年度の 1 1 . 3 %から 0 %を目指す ・ 幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成 1 5 年度の 1 6 . 7 %から 7 %以下にすることを旨とする			実 績			評 価	
				・ 朝食を欠食する子どもは8.5%で、調査を開始した平成 1 3 年度からみると2.8ポイント減少しているものの、前回調査の平成 2 2 年度調査実績と比べると0.1ポイント増加している。 （平成 2 5 年度食生活等状況調査より、3年ごと実施） ・ 肥満である子どもの割合は前年度より0.1ポイント増加している。 ・ 毎年の「肥満状況調査」によると平成 2 6 年から 2 7 年にかけて肥満傾向児の割合は0.2ポイントの増加となっている。 ・ 朝食を週 3 回以上欠食する大人の割合は10.8%で、平成 1 5 年度からみると5.9ポイント減少しているものの、前年度より0.5ポイント増加している。 （総合健診結果より）				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当
	①	朝食欠食状況調査の実施	食生活状況等調査（1回/3年）	子ども（3歳～15歳）の状況把握	0	0	H 2 7 年度は実施無し	健康保険課 教育委員会
			総合健診時のアンケートの実施	各年代（40歳以上）の状況把握	0	0	受診者1,618人（40歳以上） 朝食欠食率 1 0 . 8 % （平成 2 7 年度）	
	②	肥満状況の把握	保育所幼稚園及び小中学校の身体測定と特定健診のデータから把握	対象者1,294人（3～15歳）、1,952人（特定健診受診者）	0	0	3～15歳 1,293人（H27）肥満傾向児 11.8%（H26は 11.6%） 特定健診 1,696人（H26） 内臓脂肪症候群 16.8%（H25は 15.4%）	健康保険課
	③	朝ごはん標語の看板設置	設置済看板の補修等	随時実施	18	0	補修なし	
	④	正しい生活（食も含む）習慣の啓発の推進	チラシ作成及広報等で周知	年数回実施	150	0	乳幼児健診において、生活リズム（睡眠等）及び食について健康教育を実施	健康保険課
	⑤	朝ごはん運動の推進啓発活動	成人式などの開催時		0	0	成人式にチラシ等を配布し、啓発活動をした	教育委員会
計					168	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)家庭での食に対する理解の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す ・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す ・毎日1個のりんごを食べる			実 績		評 価	
				・予定していた事業は、実施した。ほぼ達成できた。 ・塩分摂取量は12.69gで、昨年度より0.27g増加した。(総合健診結果より)なかなか12gまで下がらない現状である。 ・健診時、朝食を食べた人のアンケートでは、塩分の目標摂取量(男性9g未満、女性7.5g未満)を知っている人の割合は38.9%、野菜の必要摂取量(350g以上)を知っている人の割合は33.7%であった。今後も引き続き、具体的に野菜や塩分の摂取量を知ってもらうための調理教室や試食等の健康教育が必要である。		○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額(千円)	決算額(千円)	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	90	94	いのちのまつりでの試食提供400食	健康保険課
	② 町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	健診期間(23日)に実施(1,150食:50食/日)	345	355	23回(1,150食)実施	健康保険課
	③ 離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月の母親を対象に実施	各月1回実施	228	228	36回実施、226人参加	健康保険課
	④ 若いママのための調理実習	乳幼児を持つ母親を対象に実施	年5回	130	106	5回実施、39人参加	健康保険課
	⑤ PTA調理実習	PTA会員を対象に実施	年2回	5	5	希望するPTAに4回実施、103人参加	教育委員会
	⑥ 野菜を多く使った調理実習の実施(健康教室)	一般町民を対象に実施	年3回	170	123	6回実施、96人参加	健康保険課
	⑦ 尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	年1回実施 対象者2,416人 目標 平均12.0g	522	501	2,319人に実施 平均12.69g(男13.19g、女12.27g)	健康保険課
計				1,490	1,412		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3)安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項					
ガイド ライン	・食生活と栄養に関する学習の場を増やす ・安全な食品に対する情報提供の場を増やす			実 績			評 価	
				食生活改善料理教室等の色々な場面で安全な食品である地場産品の利用と利用促進をしている。				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	地区伝達講習会の実施	安全な食品及び栄養に関する情報提供	年6回実施	0	0	・野菜を多く使った料理教室に合わせて6回実施 ・講習会以外に町広報誌に健康レシピを6回掲載	健康保険課
	②	食生活と栄養に関する学習の場づくり	いのちのまつり開催時食生活改善推進員及び栄養士会による情報提供	いのちのまつり時実施	0	0	展示・相談・チラシ配布を2日間実施	健康保険課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す ・1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整) ・喫煙者の減少を目指す ・1年に1回は健康診査の受診を目指す ・鶴田町健康づくり推進協議会等の活性化を図り、健康づくりと受診率向上を目指す ・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す (注) 乳がん検診については、H20年度から60歳以上のマンモグラフィのみの受診は統計に反映されなくなったため受診率が低くなっている。			実 績			評 価	
				・酒については「毎日飲んでいる」割合は26.3%である。 ・喫煙については「習慣がある」割合は20.5%である。 ・妊婦の喫煙率は8.7%であり昨年の倍となっている。 ・「睡眠で休養が十分とれている」割合は72.9%であり、4人に1人が睡眠不足を感じている。 ・特定健診の受診率は前年度より1.7ポイント増加している。今後も引き続き受診率向上に向けた取組を継続していく必要がある。 ・胃、肺がん検診の受診率は県内で1位(平成26年度)であり、大腸がんは2位であった。 婦人健診の受診率の向上については今後も課題である。 ・若い頃からの健康づくりと健診受診の習慣化を目的に平成22年度より30歳からの健診受診を勧めている。(特定健診、胃、大腸)また、健診結果説明会の対象を平成28年度から30代も加え実施する。			○	
実 施			事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額(千円)	決算額(千円)	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	生活習慣病予防学習会の実施	随時実施	年120回実施	110	106	生活習慣病予防、健診のすすめ、健康体操など14,906人 174回実施	健康保険課
	②	健康診査の実施	特定健診	目標受診数 1,952人	16,041	11,744	対象者数3,672人 受診者数1,618人(44.1%)	健康保険課
			胃がん検診	目標受診数 2,200人	11,880	10,238	対象者数3,214人 受診者数1,896人(59.0%)	健康保険課
			大腸がん検診	目標受診数 2,900人	4,957	4,777	対象者数3,765人 受診者数2,602人(69.1%)	健康保険課
			肺がん検診	目標受診数 3,800人	6,399	5,342	対象者数4,013人 受診者数3,298人(82.2%)	健康保険課
			子宮頸がん検診(卵巣がん含む)	目標受診数 690人	4,303	4,015	対象者数2,827人 受診者数1,280人(45.3%)	健康保険課
			乳がん検診	目標受診数 880人	3,510	3,088	対象者数2,453人 受診者数 507人(20.7%)	健康保険課
③	がん検診精密検査料自己負担額補助事業	各種がん検診要精検者の検査料の一部を補助	651人 (限度額8,000円)	4,036	1,760	がん精検対象者数622件 補助申請件数355件(57.1%) 一件あたり平均5,210円	健康保険課	

平成27年度 朝ごはん運動実績

計 画	④	健診受診勧奨	各組織の会合に出席し、受診勧奨をする	年10回程度	0	0	対象者4,471人 実施30回	健康保険課
	⑤	健診結果説明会	国保特定健診受診者全員に対して健診結果の説明と保健指導を実施	目標 1,952人	190	183	対象者数1,609人 利用者数1,554人(96.6%)	健康保険課
	⑥	地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数30人	140	140	長平青少年旅行村で10月10日～11日、1泊2日の日程で開催 小学4～6年生及び中学生リーダー35名、高校生リーダー及び指導員26名の計61名の参加	教育委員会
	⑦	朝の10分間読書	町内全小中学校で実施	毎日実施	1,775	1,711	毎日実施	教育委員会
	⑧	鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年3回実施	0	0	「食」を含めた学校の保健に関する会議等を実施	教育委員会
	計				53,341	43,104		

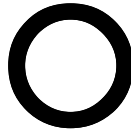
平成27年度 朝ごはん運動実績

ガイドライン項目		(2)就寝及び起床の標準時間に関する事項							
ガイドライン					実績		評価		
	・幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す ・学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す ・学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す ・中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す				・幼児期 〈1歳6か月児〉 起床時刻：6:30より前に起床している割合…44.4% 就寝時刻：21:00より前に就寝している割合…40.4% 〈3歳児〉 起床時刻：6:30より前に起床している割合…30.2% 就寝時刻：21:00より前に就寝している割合…14.0% ※平成27年度1歳6か月児健診及び3歳児健診時実施の「食と生活リズムアンケート」集計結果より 乳幼年期から早寝早起きの生活リズムが身につくよう、睡眠が成育や健康に与える影響などといった知識の普及と個別支援を今後も継続して実施していく必要がある。		○		
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等		予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	①	就寝、起床時間の調査の実施	対象：3歳から15歳まで	「食生活等状況調査」（3年に1回の実施であり、今年の実施は無し。）と一体的に実施。（対象は、1,381人）（平成28年度の実施予定）		0	0	H27年度は実施無し	健康保険課 教育委員会
	②	乳幼児の就寝、起床時間の調査の実施	幼児健診における調査	年8回実施		0	0	1歳6か月児健診 4回 89人 3歳児健診 4回 86人	健康保険課
	③	適正な生活リズム定着への支援	乳幼児保護者への啓発	誕生証書交付式 乳児健診 1歳6か月児健診 3歳児健診	年12回 年36回 年4回 年4回	0	0	誕生証書交付式 12回 71人 乳児健診 36回 226人 1歳6か月児健診 4回 89人 3歳児健診 4回 86人	健康保険課
	④	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施		0	0	入学式 1回実施 PTA総会 1回実施 参観日 1会実施	教育委員会
			各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施		0	0	随時実施	
	計						0	0	

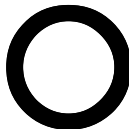
平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項								
ガイ ド ラ イ ン	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する				実 績			評 価		
					農薬取締法の農薬使用基準について研修会を開催し、農薬の特性、薬剤の選択、散布時期などについての周知徹底が図られた。 また、残留農薬のポジティブリスト制度について、農薬の飛散（ドリフト）防止技術の向上が図られた。			○		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る		年2回開催		0	0	水稻現地講習会 2回 （町農業支援センター） 農薬使用現地講習会 5回（町共防連）	産業観光課
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供		年1回配布		206	206	農事普及だより 8回配布	産業観光課
	計						206	206		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)農産物の生産履歴の記帳に関する事項								
ガイドライン	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける				実 績			評 価		
					トレーサビリティに係る講習会及びＪＧＡＰ認証取得のための支援対策により、農産物の安全性と消費者への信頼性確保が図られた。					
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催		年2回開催		0	0	水稻現地講習会 2回 （町農業支援センター）	産業観光課
	②	農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範（ＧＡＰ）の推進	認証取得促進チラシなどによる周知活動		年1回実施		660	404	ＪＧＡＰ認証取得 9名	産業観光課
	計					660	404			

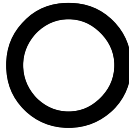
平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3)食品表示の適正化の推進に関する事項					
ガイド ライン	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正ＪＡＳ法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のＪＡＳ規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正当に評価される活動を展開する				実 績			評 価
					消費者への信頼性確保のために、ＪＡＳ法及び食品衛生法に基づく食品表示等についての研修会などを実施した。			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習への参加	随時	0	0	あるじゃ農産物販売コーナーでの点検・指導	産業観光課
	②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0	0	野菜等生産研修会 2回 （あるじゃ産直友の会）	産業観光課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項								
ガイド ライン	・ 特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取り組む産地を育成する ・ 土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する				実 績			評 価		
					各種研修会等において、県特別栽培農産物認証制度についてのチラシなどによる周知活動を実施した。 エコファーマーの新規認定及び再認定に係る申請手続きの誘導を図るため、制度内容の周知チラシを配布した。 環境保全農業については、町認定農業者等協議会が稲わら焼却防止宣言による取り組みを行っている。					
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導		目標認証件数：7件		0	0	4件 （農家、法人など）	産業観光課
	②	エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす		目標認定者：130戸		0	0	48戸	産業観光課
	③	日本一健康な土づくり実践事業	農業生産団体が土づくり等の環境保全農業活動を行う		随時		0	0	町認定農業者等協議会による環境保全農業（稲わらすき込み）を実施	産業観光課
	計						0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(5)食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する				実 績		評 価	
					町および県内で実施した農林水産物に係る放射性物質測定結果についての情報を提供した。			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食品の安全及び安心に係る情報	チラシやパンフレットなどによる農産物の安全・安心の周知活動	随時	0	0	チラシ「食の安全・安心情報」を10月に配布	産業観光課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進							
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項							
ガイ ド ラ イ ン	・各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る				実 績		評 価			
					グリーンツーリズムの拠点施設である「あるじゃ」を核として、町内に点在する各観光農園（さくらんぼ、ぶどう、りんご）マップを町ＨＰに掲載し、県内外への情報発信が図られた。 当町産の大豆、米、小麦の加工商品の開発及び製造・販売により、地産地消の推進が図られた。		○			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光農園の積極的なＰＲ活動		随時	0	0	あるじゃ及び町ＨＰからの情報発信により、県内外へのＰＲ活動を実施した	産業観光課	
	②	大豆・米加工施設の利用促進	加工商品の開発及び製造・販売の強化		随時	0	0	大豆、米、小麦の加工商品の開発、製造・販売を行った	産業観光課	
	計					0	0			

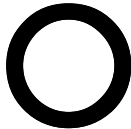
平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる			実 績			評 価	
				当町産の認証米「鶴の輝き」及び大豆・小麦加工品について、あるじゃ店頭販売のほか学校給食用などで消費が図られた。				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米を農協・あるじゃの加工施設で商品化し消費拡大を図る	加工量：17,000kg うち学校給食：11,000kg	0	0	加工量 15,558kg ・学校給食 10,732kg ・米粉 961kg ・その他 3,865kg	産業観光課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	9,000kgを豆腐、テンペ等に加工・販売	0	0	加工量 7,718kg ・学校給食 3,039kg ・豆腐 5,855kg ・味噌 150kg ・その他 625kg ・ソフト・シェーク 10,738個	産業観光課
				小麦10,000kgをあるじゃ加工施設で加工・販売	0	0	加工量 4,020kg びっくりパン、食パン 米粉パンなどに使用	産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年１２回開催(教養講座)	112	96	町公民館で料理教室を、５月～９月までの期間で計１２回開催。	教育委員会
				年１回開催 (農家女性いきいき講座)	35	22	計１回 ・米・野菜料理教室	産業観光課
	新 ④	子育て支援米の支給	18歳までの子どもがいる世帯に対し、1人につき20kgの鶴田産つがるロマンを支給する。	対象者：0歳～18歳まで 2,136人	14,492	12,886	1,091世帯、1,815人分支給	総務課 (町民生活課)
	計				14,639	13,004		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3)地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			実 績			評 価	
				平成２７年度で学校給食に使用した地場産品は、米、野菜、果実等１４品目で、鶴田産１６．７％、青森県産４９．８％を使用しており、食材全体使用量の６６．５％を占めている。 昨年に比べ、鶴田産が１．２％増え、青森県産の使用量も０．４％上昇している。 天候に左右されることもあるが、地場産品の安定供給をするためには、学校給食応援隊の増員や関係機関との連携を強化する必要がある。			○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立	かぼちゃ、玉ねぎ等 3,０００kg	400	400	野菜等の使用量 2,174kg じゃがいも 223kg たまねぎ 517kg 長ねぎ 542kg 大根 96kg にんじん 393kg ピーマン 15kg パプリカ 3kg なす 44kg ミニトマト 120kg 白菜 41kg みそ 180kg	教育委員会
	②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」を使用 11月からりんごを提供	0	0	米は県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」を提供 10,933kg りんご(無償) 3,059kg ぶどう(無償) 100kg	教育委員会
	計				400	400		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			実 績		評 価			
				町内外イベントにおいて、地場産品を賞品や材料として使用するとともに、特産品販売やPR活動による販路拡大と情報発信が図られた。					
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課	
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	さくらまつり、つるたまつり（米消費拡大イベント「龍巻寿司」）、各種特産市等で紹介・販売	年3回開催	524	41	さくらまつりにおけるカラオケ大会で「あるじゃ」の賞品を使用（41千円） 龍巻寿司では「鶴の輝き」がなく、鶴田産の米限定は不可能	産業観光課	
			成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用	年3回開催	45	39	成人式 1月3日開催 実年式 2月11日開催	教育委員会	
			フッドリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介	年2回実施	362	613	年3回実施 ・フッドリバー市民と親しくする会 ・新年を祝う会 ・外国青年による津軽弁大会	総務課	
	②	町外イベントでの地場産品の紹介	青森人の祭典で紹介・販売	年1回参加	234	213	計1回 ・青森人の祭典	産業観光課	
			ふるさと鶴田会総会・役員会で紹介	年2回実施	365	365	年2回実施 ・ふるさと鶴田会総会 ・役員会	総務課	
	新 ③	地場産品の販路拡大事業	スチューベンぶどう販路拡大トップセールス	年1回開催	285	285	計5回 ・愛知県 3回 ・東京都 2回	産業観光課	
			観光・物産資源PRキャンペーン	年2回参加	930	143	計2回 ・町イチ！村イチ！（123千円） ・ツルタの恩返し（20千円）	産業観光課	
	計					2,745	1,699		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガイド ライン	・ 保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す			実 績			評 価	
				小学校において、実際の農作業を経験し、収穫の喜びとともに食への知識向上を図った。 また、料理教室は自分で料理をするきっかけ作りや親子の絆を深めることに役だった。			○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校各学年対象 年21回実施	144	144	21回実施（344人）	教育委員会
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(4校) りんごづくり(5校) 野菜づくり(4校)	0	0	米づくり(3校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(5校)	教育委員会
	計				144	144		

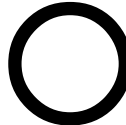
平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す				実 績		評 価
					スポーツにおける栄養の役割等を学び合い、運動と食についての意識をより一層高めることを図った。		○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食育と生活リズム推進委員会	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年3回実施	0	0	7月29日 10:00～11:50 講演会「成長する子どもが運動するときの栄養について」 講師 健康保険課健康長寿班 太田茂子栄養士 その他会議 2回	教育委員会
	計			0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す			実 績		評 価	
				・ 郷土食と行事食を13回実施。学校給食応援隊と連携し地元食材を使用している。 ・ 地元食材を活用した食に関する指導を実施した。 ・ 郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施。 4月ー入学進級お祝い（お祝いゼリー） 5月ーこどもの日（柏餅） 6月ー虫歯予防週間（アーモンド・小魚） 7月ー七夕（七夕ゼリー） 8月ー夏野菜カレー（なす、パプリカ、いんげん等） 9月ー十五夜（白玉汁・十五夜ゼリー） 10月ーハロウィン（かぼちゃプリン） 11月ーふるさと産品の日（ぶどう） 12月ークリスマス（チョコクレープ） 1月ー正月（けの汁・子和え） 2月ー節分（福豆） 3月ー雛祭り（雛あられ・卒業お祝いゼリー） 11月～2月ー鶴田産のりんごを毎食提供 ・ 11月に胡桃館小学校において生徒と教育長、教育次長、学校長、学校給食応援隊、給食センター職員が顔の見える「ふるさと産品の日交流給食会」を開催した。 ・ 11月青森県学校給食会主催の学校給食献立コンクールへ参加し、鶴田小6年児童のチームが「健康もりもり給食」という題材で優良賞を受賞するなど食育の成果が伺えた。		○	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	0	0	郷土食と行事食を13回実施。 ふるさと産品の日交流給食会の実施。
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年60回実施	0	0	鶴田小学校他 42回実施
	計				0	0	

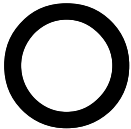
平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針			5 食育推進の強化					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(4)国際交流による食育の推進に関する事項					
ガイド ライン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す			実 績			評 価	
				フッドリバー訪問前に国際交流員が調理した外国料理を中学生大使と保護者が実際に食し、外国食文化とテーブルマナーを体験。				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	52	20	フッドリバー訪問団員24人	教育委員会
	計				52	20		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		6 米文化の継承					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			実 績			評 価
				町内外でのイベントにおいて、農産物等の販売による消費者との交流が図られた。			○
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予 算 額 (千 円)	決 算 額 (千 円)	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各種イベント等における特産品の情報発信活動	随時実施	0	0	計1回 ・龍巻寿司	産業観光課
	② 道の駅を中心とした情報交流の場の開催	あるじゃ及び各道の駅でのイベント等における特産品販売・PR活動	年2回開催	0	0	計4回 ・あるじゃ周年祭 ・スチューベンまつり ・西北津軽産直の日 ・さつま町フェスタ その他県内外道の駅イベント	産業観光課
	計			0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実績

基 本 方 針		6 米文化の継承					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す			実 績		評 価	
				管内各小学校において開催された、米づくり体験、餅つき大会の開催を通して、日本の伝統的な米文化と米を食することの重要性に関する継承の促進が図られた。			
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予 算 額 (千 円)	決 算 額 (千 円)	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	餅つき大会＝4小学校（鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小）	30	30	鶴田小 三世代ふれあいまつり 11月7日 菖蒲川小 三世代交流もちつき会 11月21日 梅沢小 防犯餅つき大会 12月12日 胡桃館小 くるみふれあいまつり 11月29日	教育委員会
	② 歴史文化の伝承事業	米料理、伝統料理の継承と古民具の展示。	鶴田町歴史文化伝承館の活用	0	0	2階の教室に、古民具・農具を展示している	教育委員会
	計			30	30		

合 計	73,875	60,423
-----	--------	--------